

令和2年度 事業報告について

事業概要

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、定時総会をはじめ予定していた多くの事業を中止や縮小せざるを得なかったほか、社会経済活動の停滞等から事業面でも大きな影響を受けました。

このような中、令和2年度が当センターの設立から30年という節目の年にあたり、11月には設立30周年記念式典を開催するとともに、記念誌を発行するなどの記念事業を実施することができました。

また、第三次中期（5か年）計画の最終年度となることから、令和3年度を初年度とする新たな中期計画の策定を行ってまいりました。

シルバー人材センターは、高齢者の多様な社会参加の受け皿として、また企業の人手不足の解消や地域社会の維持・発展等といった期待に応えるため、コロナ禍の状況下においても必要な感染症予防対策を講じつつ、業務体制の維持・強化を図っていくことが必要となります。

その一方で、シルバー事業を取り巻く環境は、企業の65歳定年制や70歳までの就業機会の努力義務に加え、会員の減少や高齢化、後継者不足などの課題が顕在化してきており、依然として厳しい状況が続いています。

最重要課題である会員の拡大については、会報「シルバー須高」やホームページの活用、高齢者活躍人材確保育成事業を活用した「シニア世代の健康と食の講座」や「脳体操で認知症予防セミナー」の開催、入会説明会開催回数の増、入会の迅速な承認、地域班や会員の口コミによる「会員ひとり1会員拡大」活動などに取り組んでまいりましたが、退会者の増加等もあり、会員数は3月末で645人となり、前年度末会員数との比較では13人の減となっています。

事業面では、請負・委任事業においてコロナ禍による事業減少の影響もあり、事業収入は296,871千円で、前年度同期比4.0%の減となりました。受注件数は、3,577件で145件の減、就業率は89.9%となりました。

派遣事業については、請負からの変更等もあり契約額は26,963千円となり、前年度同期比40.8%の増、受注件数は21件となりました。

この結果、請負・委任及び派遣事業の収入等の合計は323,834千円で、前年度同期比1.4%の減となりました。

安全就業につきましては、事故件数は傷害・賠償等合わせて4件で、前年同期と比較し5件の減となっています。

コロナ禍の中、「安全就業推進大会」などは中止となりましたが、事故を未然に防ぐための危険予知訓練(KYT)の実施など、安全就業の推進に取り組んでまいりました。

以下、主な事業等について報告いたします。